

## ごあいさつ

このたび高島屋では白日会関西選抜メンバーによる「第4回  
菫の会」を開催いたします。

夏から秋にかけて白緑色のちいさな花が集り咲く菫と、晩  
夏に白日会のメンバーたちが一堂に結集するイメージを重ね  
て「菫の会」と命名されました。90年以上にわたり伝統的技法  
や表現の尊重を大切に守りながらも、新時代へ向けてわが国  
の具象絵画・彫刻の発展に寄与してきた白日会。会長の中山  
忠彦先生にも賛助出品いただき、精鋭11名が意欲作をもって、  
それぞれの具象の在り方を大阪から世に問いかけます。

高島屋美術部

### <菫の会メンバー>

中山忠彦【賛助出品】

池田良則 久保尚子 河野桂一郎 児玉健二 三箇大介  
高梨芳実 西谷之男 堀井 聡 前芝武史 山本桂右 李 暁剛

(敬称略・50音順)

※河野桂一郎先生、前芝武史先生、李暁剛先生は  
諸事情により今回不出品となります

## 中山忠彦 Tadahiko NAKAYAMA



白日会は、今春創立九十六回展を迎えました。中澤弘光先生・伊藤清永先生等諸先輩の指導力と努力によって今日に至りました。会の理念は「写実の王道を歩む研究団体」との世評を得て、自他共に許す存在を誇るに至りました。

白日会は全国各地に支部を持ちますが、中でも主要な巡回先である関西支部の発展は目覚ましいものがあります。

2016年、高島屋のご協力を得て関西選抜メンバーによる「寛の会」が結成されました。そして前回、第3回展より関西の枠を超えたメンバーも加入し新たなる出発となり、今回第4会展開催の運びとなりました。

精鋭達の今回の意欲作を是非ご高覧賜り、ご講評くださいますようお願い申し上げます。

中山忠彦



ヴィクトリアン、ケープ 6F 油彩

# 池田良則 Yoshinori IKEDA



ロカ岬 100F 油彩

巣籠りの期間、スケッチの整理をしてみた。その時、その場の気持ちが甦る。  
もう一度その時の気持ちになって作品にしてみたいと思ったのが“ロカ岬”です。  
「インドから始まった西へ向かう私の旅はついにユーラシア大陸の西端まで来てしまった」  
という想いが頭を過ったのを覚えています。



花梨 6F 油彩



## 略歴

- 1951年 京都に生まれる
- 1973年 金沢美大油画科中退 高光一也に師事
- 1974年～ インド・中近東・中南米を歩く
- 1977年 日展初入選(以降毎年出品)
- 1984年 日展特選受賞(同'97)
- 1994年 白日会展初入選('02U賞・'11伊藤賞・'17中沢賞・'20平松賞・'21文部科学大臣賞・'22内閣総理大臣賞)
- 1999年 文化庁派遣芸術家在外研修員として  
メキシコ・グアナファト大学留学 客員教授を兼任
- 2001年 日展審査員(同'05'08'12'15'20)
- 高島屋画廊他、個展、企画展多数
- 現在 日展特別会員 白日会常任委員 京都精華大学非常勤講師

## 久保尚子 Naoko KUBO



Reverie 100F 油彩

言葉を失うことは多いが、寡黙ながらも雄弁な絵を描きたい。  
花は魂の状態でもある。  
しかしながら、そのような自己を透過した先に見え隠れする何か得難くも可能なものを成就せしめるように、願わくば人の心に寄り添い滋養となる作品を目指していきたい。



室内—vase— 6F 油彩



### 略歴

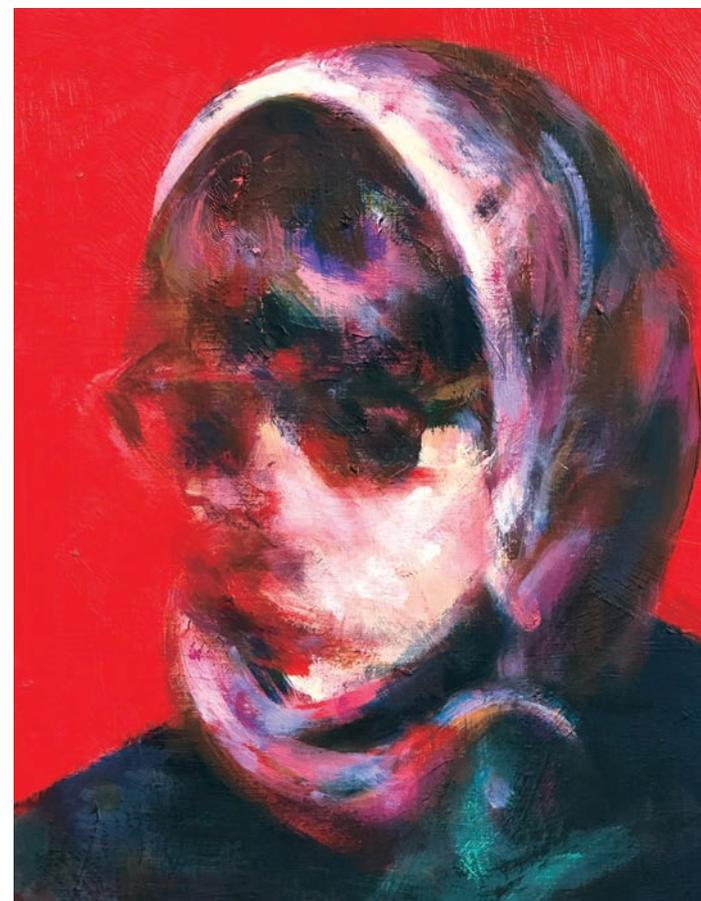
1982年 福井県生まれ  
2005年 京都教育大学 教育学部 美術科卒業  
2014年 白日会創立九十周年記念展 初出品 一般佳作賞 一以降毎年出品—  
2018年 第94回 白日会展 会員推挙  
第29回 明日の白日会展(日本橋高島屋) 一以降毎年出品—  
2019年 個展(あべのハルカス近鉄本店)  
第3回 ホキ美術館大賞展、改組新第6回 日展 初出品新入選  
2020年 第55回 昭和会展 入選  
第96回 白日会展 瀧川画廊賞  
2021年 個展(姫路山陽百貨店)、第8回日展 特選  
現在 白日会会員・日展会友

## 児玉健二 Kenji KODAMA



MODE (Inspired by Dior publicity) 100F 油彩

MODE シリーズは、ファッションブランドのパブリシティからイメージを得ています。直に自身の顔を見ることができない私たちの自己意識は、氾濫する情報の中でセルフとジェンダーの間を揺れ動きながら、定位する場を探し求めているのでしょうか。シーズン毎に前言撤回をするファッションを纏う私たちは、束の間の自己イメージを更新しながら、いったい何処へ向かおうとしているのでしょうか。



MODE (Inspired by Dior publicity) 6F 油彩



### 略歴

- 1957年 佐賀県に生まれる
- 1987年 より関西美術院に学ぶ
- 2007年 第 83 回白日会展 初出品 以後毎年
- 2009年 第 85 回白日会展 会友奨励賞
- 2011年 第 87 回白日会展 富田賞・美岳画廊賞
- 2012年 第 88 回白日会展  
損保ジャパン美術財団奨励賞・第 44 回日展 特選
- 2015年 改組新第 2 回日展 特選
- 2018年 改組新第 5 回日展 審査員
- 2021年 第 8 回日展 審査員  
白日会会員／関西支部長 日展会員 関西美術院理事長

## 三箇大介 Daisuke SANGA



2019 120M 油彩

敢えて描こうとしないこと  
によって引き出されるもの  
がある。

そんな風を感じるものが最近  
は増えている。

情感や情緒が主題であっ  
て、写実的な描写はその手  
段なのかも知れないなとも  
考えるようになった。

人は日々変わり続けている。  
絵画は、しばらくの間、そ  
の姿の断面を物質的に保存  
してくれるのである。



夏の花のように 6F 油彩



### 略歴

- 1976年 兵庫県生まれ
- 1999年 京都造形芸術大学芸術学部美術科洋画コース卒業
- 2010年 大王大賞展 秀作
- 2012年 FUKUI サムホール美術展 奨励賞  
雪梁舎フィレンツェ賞展 入選
- 2013年 小磯良平大賞展 入選
- 2014年 白日会展 初入選 一般佳作賞
- 2019年 白日会展 会員推挙  
個展 あべのハルカス近鉄本店
- 現在 白日会会員 NHK文化センター梅田・京都・神戸教室 講師

## 高梨芳実 Yoshimi TAKANASHI



ウクライナの人 80F 油彩

コロナ禍もあってアトリエに居る時間が増した様に思う。だからという訳ではないが大作に手を付けて制作のピッチを上げているところである。

今回の大作のモデルはたまたまの出会いで、わざわざウクライナの人を捜した訳ではなかった。とはいえ人を知ることその人の国を身近に感じるものである。

揺れる心をまるで動画の凝縮の様に止める事は、骨の折れる仕事ではあるが、それはそのまま絵の急所でもある。構図を決めるまでが一勝負だが、今回は絵具を重ねるに従い、穏やかな表情に寄せていったかもしれない。



Rena 12M 油彩



### 略歴

- 1954年 北海道生まれ
- 1978年 阿佐ヶ谷美術専門学校絵画科卒
- 1990年 セントラル美術館油絵大賞展招待出品
- 1997年 参議院五十周年記念式典図制作
- 2001年 日展 特選
- 2002年 日展 特選
- 2003年 第79回白日会内閣総理大臣賞・伊藤清永賞
- 2013年 日中文化交流(上海・南京・宜興・北京)
- 2015年 個展(高島屋 東京日本橋・京都・大阪・横浜・岐阜)
- 2018年 白日会中沢賞
- 現在 日展特別会員 白日会常任委員

## 西谷之男 Yukio NISHITANI



三亀ヶ谷池 100F 油彩

最近水のある景色を描くことが多くなりました。  
水面の表情には外気の風や光が反映されていて自然が凝縮されているように感じています。時代の変化を超えて、そこだけは変わらない自然の姿が残っているようです。  
陸上の実像との組み合わせによって生まれる、空間の面白さにも惹かれながら描いています。



棚田と桜 6F 油彩



### 略歴

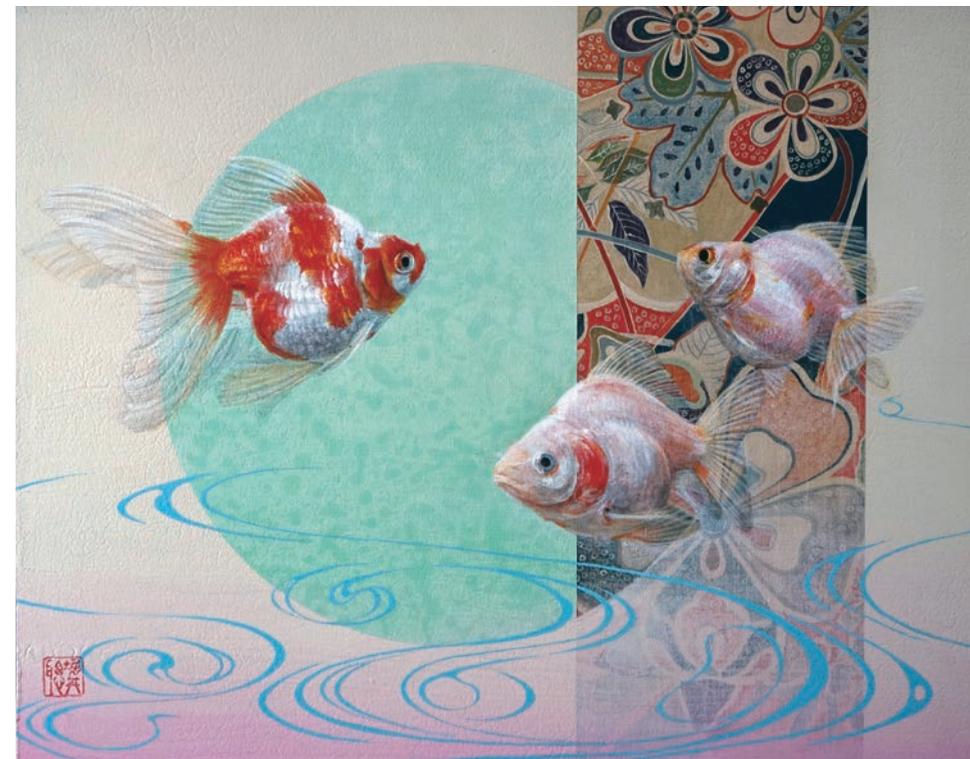
- 1958年 静岡県生まれ
- 1982年 阿佐ヶ谷美術専門学校絵画科卒業
- 2007年 グループヴェルジェ展（ギャラリー和田・ギャラリー小林）  
'11まで毎年
- 2012年 白日会展初出品（以後毎年） 一般佳作賞
- 2013年 白日会展 美岳画廊賞
- 2014年 日展 特選（同'16）
- 2018年 個展（静岡カントリー浜岡コース&ホテル カルチャーフロア）  
彩虹会展（阪急うめだ本店）
- 2019年 日展 審査員
- 現在 日展会員 白日会会員 白日会静岡支部長

堀井 聰 Satoshi HORII



百花繚乱 (未完) 162 × 82cm アクリル

今回の出品作は、今までの仕事の系譜から少し離れて冒険してみようと思い滅多に描かない人物画の大作に挑んでみました。未だ完成していませんので製作途中の写真を掲載することとなり心苦しいのですが、今の自分に正直に向き合ってみようと思っております。



游魚図 6F アクリル



略歴

- 1964年 神戸市に生まれる
- 1988年 伊藤簾記賞展出品(名古屋日動画廊) 同'89
- 1990年 京都市立芸術大学 大学院(絵画専攻油画)修了
- 2000年 なにわ会展(梅田画廊)'01'02
- 2004年 昭和会賞展 招待出品(日動画廊'05'06)  
日本アートアカデミー賞 招待出品
- 2011年 白日会展 損保ジャパン奨励賞
- 2014年 観○光(カンヒカリ)展出品('15・'17)
- 2018年 白日会展 ギャラリー大井賞
- 個展 梅田画廊・ギャラリー大井・東邦アート他全国百貨店にて多数
- 現在 白日会会員 嵯峨美術大学、精華大学において非常勤講師

# 山本桂右 Keisuke YAMAMOTO



宇治川 100M 油彩

京都市南部を流れる宇治川の流域に広がる伏見やその周辺は私の故郷であるとともに、戦国時代や幕末など何度も大きな戦や出来事があった地域でもあり、歴史小説やドラマ・映画などにも頻繁に物語の舞台として登場します。時代は移り街の様子は大きく変わりましたが、これと同じ山や川、夕暮れの空などを、過去の偉人達も眺めていたのかなと思いながら、よく土手の道を散歩しています。そんな宇治川沿いの風景を俯瞰的に描いてみました。



記憶の中の四条大橋 6F 油彩



## 略歴

- 1961年 大阪生まれ
  - 1986年 金沢美術工芸大学大学院修了
  - 1993年 第2回さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ 大賞
  - 1995年 平成7年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア(ローマ)に留学
  - 2004年 第39回昭和会展 優秀賞
  - 2012年 個展(日動画廊東京本店)
  - 2015年 個展(高島屋大阪店 同'18,'20)
  - 2020年 春爛漫桜めぐり展(笠間日動美術館)  
もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020  
(福島県立美術館・和歌山県立近代美術館)
- 現在 日本版画協会会員、白日会会員

---

## 第4回 覓の会

【発行】 高島屋美術部 ©2022  
【デザイン】 伊藤里織  
【制作】 マリアパブリケーションズ